

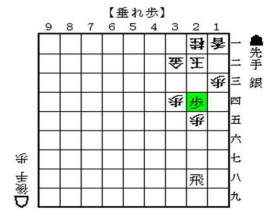


6月歳時記・水無月雨がたくさん降る時季なのに”水の無い月”って変なのって思われますよね。

「水無月」の”無”は”の”にあたる連体助詞ですので、「水無月」は”水の月”ということになります。

田植えが済み、田に水を張る必要があることから”水の月”→「水無月」と呼ばれるようになったようです。

三歩もったら継ぎ歩と垂(たれ)歩攻め (例図 ▲ 2四歩○同歩▲ 2五歩○同歩▲ 2四歩が垂れ歩) 三歩もったら継ぎ歩と垂(たれ)歩という戦略があるのをご存知ですか?この戦い方についてすこし解説いたします。



戦いにおいて歩を何歩か手にすることがあると思います。このようなときにこの格言を知っていると役に立つことがあると思います。とくに初心者の方にはこの手筋は知っていると、なかなか指せない手筋だと思いますのでぜひ知っておいて欲しいと思います。

三歩を持った時に継ぎ歩と垂れ歩をすることにより、まずは相手の陣形を乱すことができるのです。これは例えば継ぎ歩をすることにより相手の金の位置をずらすことができたり、垂れ歩を相手の玉に獲らせることにより相手の玉をこちらにおびき寄せることができるようになります。

このように、一つ一つでは微力な歩でも三つそろえばそれなりの効果をもたらす効果を生じさせることができるのです。これらからも三歩による継ぎ歩と垂れ歩の効果が実感できると思います。歩は一つもったらできることがあり、二つもったら二つの歩でできることがあるのです。そして三つもったときには継ぎ歩と垂れ歩ができるのです。この筋は前述の通り知っていないとなかなかできない筋ですので、この筋を知っておいて是非実戦に生かして欲しいと思います。

一つ一つでは微力な歩でも三つそろえばこれほど生かすことができる、そのことを是非実戦で実感して欲しいと思います。

感想戦とは何か?

要するに対局の**反省会**です。NHK将棋の対局後にごちゃごちゃやっているアレです。上達への近道と言われています。自分の手を見直し何が悪かったのか考えることにより、考える力と一手一手の大切さがわかるようになる(多分)。対局後に感想戦をしないのは復習をしないのと同じと思ひましょう。

- 1、ゆっくり見て行って不利になり始めたところを探します。敗着(このせいで負けた一手)がその辺りにあるので探してくださいその辺りを一手一手見ていきもつといい手を捜していけば見つかることが多いです。
- 2、見つかったらそこでの最善手を考えます。次に悪手を探します。この作業は一人では大変つらいので終盤だけでいいです。
- 3、こっちに詰みはなかったか、正しい受けはなかったかを考えます。詰みが見つかったら大成功です。見つからなくても相手の攻めを一手でも遅らせる手やこっちの攻めが一手でも早くなる手があれば成功です。
- 4、余裕があれば相手のいい手、悪い手も同じように探しましょう。
- 5、悔しがって感想戦を終わりにします。(これが結構大事!!記憶に残る!)



5月開催の昇級・新入会者

5月10日開催分、昇級者 大鹿颯太君1級昇、三浦光葵君9級昇中級Aへ、

新入会、真鍋亜明君・高橋桂大君・同 直大君兄弟以上ニューークラスへ、一般・加藤孝之様4級認定
一般・牧慎一郎様4級位認定、

5月24日開催分、昇級者 井口雅輝君4級昇、三浦光葵君8級認定、一般・牧慎一郎様3級再認定、

新入会・一般 小刀禰節夫様3級認定。

トピック 第72期名人位を獲得した羽生善治名人(43)＝王位・王座・棋聖＝の心境

名人戦の舞台では3年連続で敗れていた森内俊之竜王(43)に対し、今年は4連勝。「一局単位では際どい将棋が続いた。自分自身、意外だった」と振り返る。40代という年齢については「20代の時とは違い、今は次(のタイトル戦)があるかどうかかわからないという感覚がある。1回のシリーズを大切にしていきたい」と意欲を語った

7月の開催日 愛知東邦大学・学生食堂 PM1:30~4:20

7月12日(第2土曜日)・7月19日(第3土曜日)